

モリヤマメロンの出荷率・品質の高位平準化

大津・南部農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

モリヤマメロンは、県内外の消費者から高い人気を誇る守山市の農産物ブランドです。そのモリヤマメロンを生産するモリヤマメロン部会は、昭和55年に設立された歴史ある部会で、今年度は部会員数21人、面積約3haで栽培されています。

モリヤマメロンは、直近2年、出荷率や秀品率に部会員間での差が大きく、特に、若手生産者において出荷率と秀品率の向上が求められていました。

そこで、部会の平均出荷率90%、平均秀品率80%を目標に、栽培管理技術の向上に取り組みました。



写真1 温度計の設置

【普及活動の内容】

昨年に引き続き、若手生産者4人とベテラン生産者2人のハウスで温度・湿度・地温を測定し、定期的に状況を共有しました。また、出荷率・品質向上に向け、部会員全体のほ場巡回をJAと実施し、生育状況や土壌病害の発生状態に応じた遮光資材の展張や灌水作業ができるように促しました。



写真2 出荷前のモリヤマメロン

【普及活動の成果】

生産者は、温度や湿度、地温の測定データに基づく適切な管理ができるようになったことから、令和4年産モリヤマメロンは出荷率91%、秀品率71%となりました。秀品率については目標に届きませんでしたが、秀品の内訳ではプレミアムという等級の割合が令和3年の12%から令和4年は45%に大きく改善しました。また、単価の低い優品が令和3年は約7,000個ありましたが令和4年には約3,700個まで半減しました。これらのことにより、モリヤマメロン部会の販売高は、3年ぶりに1億円を突破しました。

◎対象者の意見

出荷率の目標を達成できてよかったです。モニタリングしたことにより、収穫前の地温が上がり過ぎていることがわかったため、次作ではその点を改善し、さらなる品質の向上を図っていきたいと思います。(モリヤマメロン部会長)